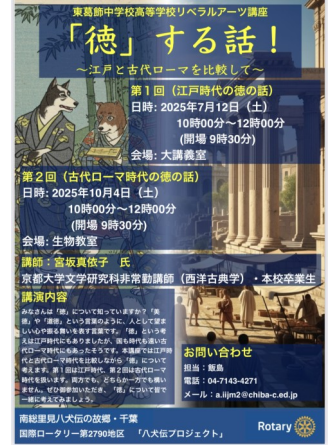
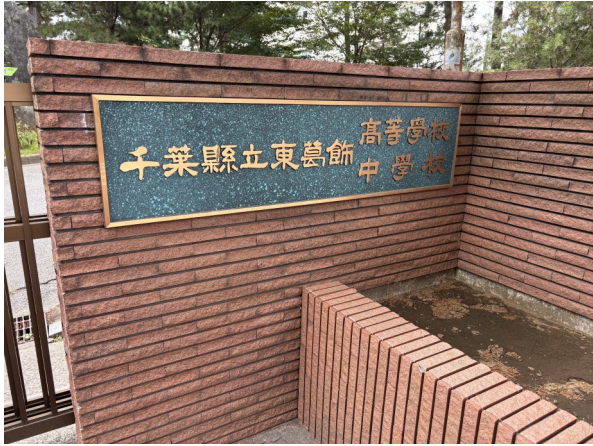


松戸北RC八犬伝プロジェクト事業報告



国際ロータリー2790地区が行っている「八犬伝プロジェクト」の一環として、青少年へ徳の心を知ってもらおうと元ロータリー財団奨学生の宮坂真依子氏と松戸北RCが協力して今回の東葛飾・中学校・高等学校での講義を開催。

講師の宮坂真依子氏が「『徳』する話!」と題して全2回講義として企画。第1回目は「江戸の徳」について、千葉を舞台にした『南総里見八犬伝』に描かれる「八徳」について中学生・高校生・保護者・OB全体で50名を越える参加者にレクチャーしていただきました。

その後は子供から大人まで、ロータリアンも混ってグループワークを開催。八徳の中での「仁・義・礼」について参加者の日常の中で考えたり感じたりした様々な事例について話し合い、各班の子供たちが内容をまとめて発表してくれました。

子供から大人まで意見交換をすると、いろいろな気づきができます。親の想い・子供の想い、日頃、直接的に親には、子供には、聞けないこと、言えないことなど、この授業が話し合いを通して「徳」について改めて考えてもらえる機会になったと思います。

第2回目は10月4日（土）「古代ローマの徳」について、江戸の徳と比較しながら行います。

講義前の様子



講義中の宮坂氏



松戸北RCメンバーの集合写真



松戸北RC 野澤新之助会長から一言

講義もわかりやすく、グループワークもみんな
で活発に意見を出し合っていました。

今回のプロジェクトが生徒たちにとって、
「徳」や「南総里見八犬伝」や、あるいは千葉
や郷土について関心を持つ出来事になってほし
いと思っております。

